

広報



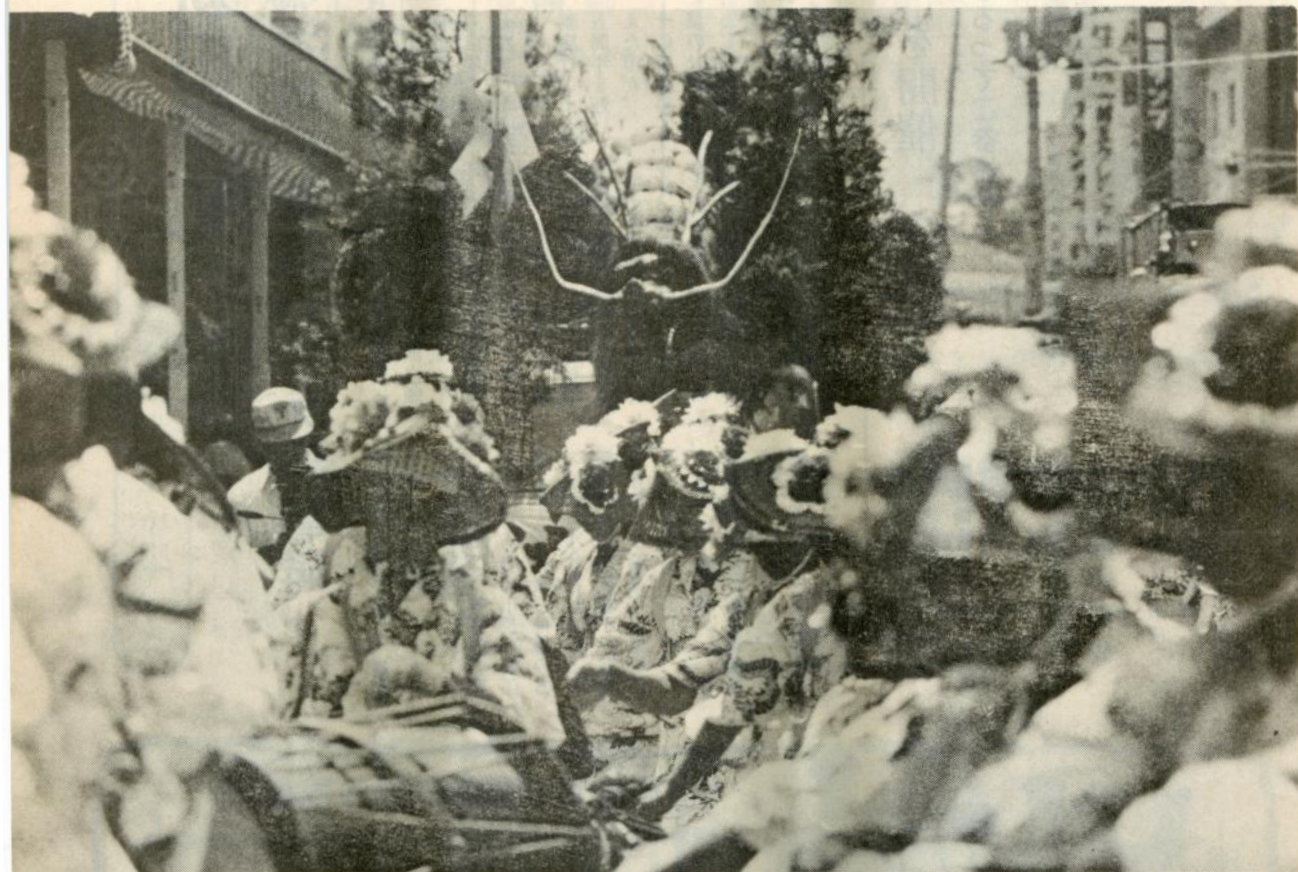
ごよがわら

発行所
 五所川原市役所
 477号
 昭和55年8月15日
 印刷 西北印刷

市の人口 男 25,588人
 52,839人 女 27,251人

世帯数 14,493

(昭和55年8月1日現在) 住民基本台帳から



冷夏を吹き飛ばし ドドスコ ドン

勇壮な太鼓まつりでフタ開けた「五所川原夏まつり」は、ナヌカ日のねふた運行でその幕を閉じた。

冷夏で、異常低温予想が出ずっぱりの期間ではあったが、火まつりに虫おくりでねふた運行…に、

老若男女が乱舞、燃えに燃えた。

暦のうえでは、すでに立秋。夏物商戦の思惑外れや農作物への冷害予想と、冷えた秋口景気ではあるが、あの熱気と情熱だけは持ち続けたいもの。

(写真=8月5日、布屋町通りで)



五所川原新田開拓の祖

鳴海翁の業績たたえ顕彰碑

五所川原新田開拓の祖で
初代代官、鳴海勤兵衛翁を

たたえる顕彰碑ができ、そ
の除幕式が八月二日、市庁

舎前のお祭

り広場で行
われました。

昨年、市

制施行二十
五周年を迎

えた市が、

その記念事
業のひとつ

として建て

たもの。

鳴海翁は、
寛文五年(一

六六五) 四代藩主信政公に

五所川原新田開拓の派立頭

(開拓の指揮者)を命じら

れ、十二年の歳月を費し

て五所川原(元町)、福川

(湊)、大曲(柏原)、前

田(高瀬)など十五カ村落

の開拓をなし遂げた。

その後、藩内の分合が行

われ、新たに五所川原遺(け

ん)代官所が設けられ、翁

はその初代代官に任じられ

て発展の礎を築いた。

完成した碑(仙台石)は、

全高四・五尺で、藤田桂三

氏が撰(せん)文し、書家
の泉無味氏が揮(ごう)したも
のです。

除幕式には、鳴海翁の遺

族をはじめ寺田市長ら関係

者五十人が出席。神事のあ

と翁から十代目にあたる遺

族の神山清友氏親子(北海

道在住)が除幕、出席者が

玉(ぎ)しを奉(ほう)典(てん)しました。

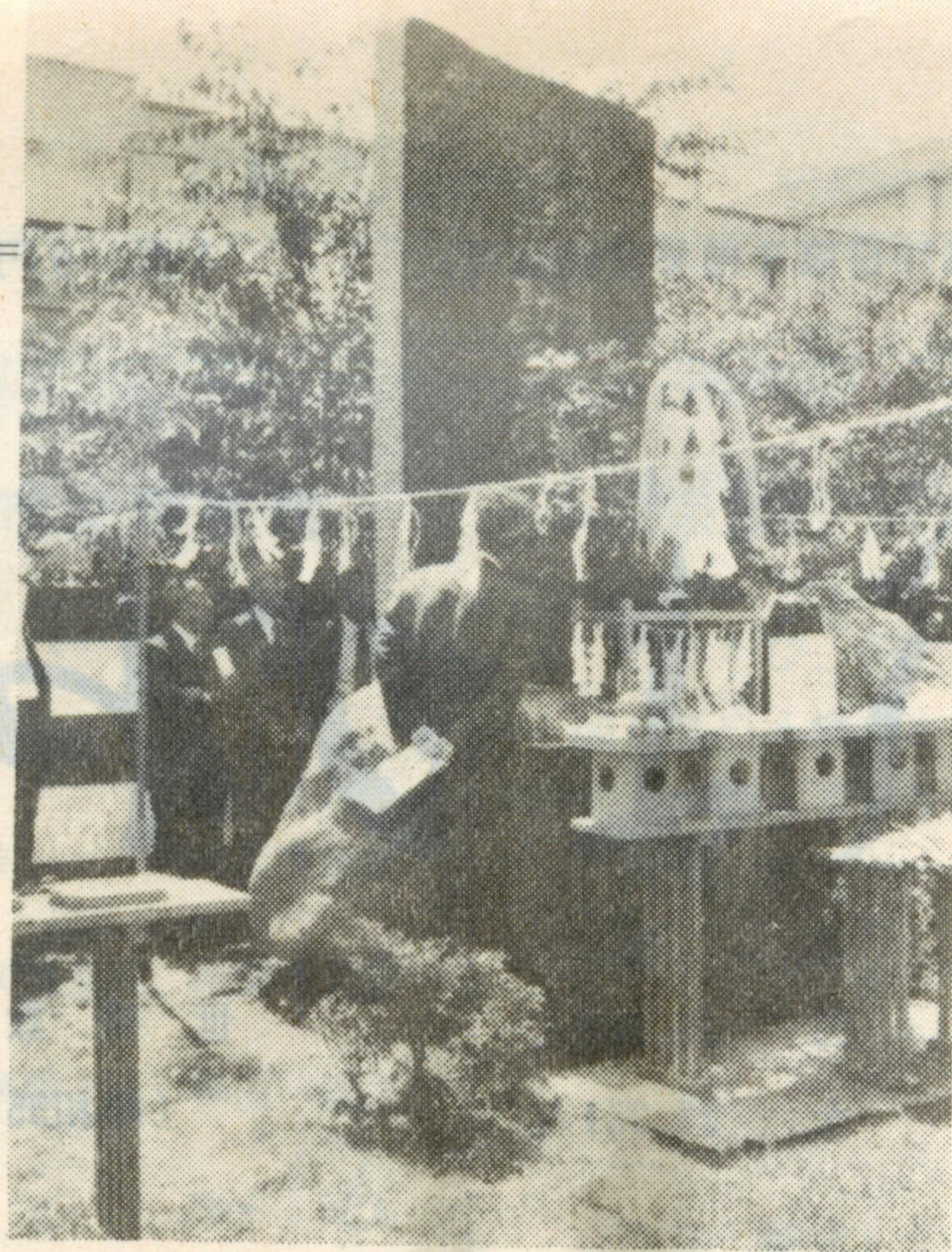
次いで寺田市長が、「鳴

海翁の残した偉大な業績を

たたえ、さらに一層、市の

発展を期(き)したい」とあいさ

つ、翁の遺徳(いとく)をしのびました。



「県政婦人教室」を開催

ふるってご参加を

□とき 九月三日(水)

□見学施設 消費生活セ

ンター、情報処理教育セン

ター、木工指導所、計量検

定所

□参加対象 西北五地区

の二十歳以上の婦人三十人。

□集合・解散

○集合 午前九時三十分

まで五所川原駅前

○解散 午後四時十分五

所川原駅前

(マイクロバス二台に広

報県民課職員が添乗し、集

合から解散まで一緒に移動

する。雨天決行

□応募方法 宮製はがき

に住所、氏名及び電話番号

を明記し、八月二十三日(土)

までに青森県企画部広報県

民課広聴班(郵便番号〇三

〇、青森市長島一〇一〇一、

☎〇一七七②一〇一一番・

内線二二〇八番)へお申し

込み下さい。電話でもけっ

こうです。

申し込み順に先着三十人

になり次第締め切ります。

□経費等 参加料は不要。

昼食は準備してあります。

第六回五高音楽 部定期演奏会

□とき 八月三十日(土)

午後六時三十分から

□ところ 市民文化会館

ホール

□入場 無料



自衛官募集案内 2等陸・海・空士

受験資格

56年4月1日現在で18歳以上高校卒業
(または見込みの男子)

受付

9月20日以降常時

試験

10月1日以降常時

試験科目

国語・数学・社会

待遇

●初任給 88,400円

その他

他に衣・食・住無料支給ですから実
質 129,800円となります。

●各種手当、ボーナス(年3回5ヵ月
分)

●自衛官は国家公務員の特別職です
から、待遇もよく安定した職場です。

詳しくは、青森地方連絡部五所川原募集事務所(☎⑤2305番)へお問い合わせ下さい。

「くらしと趣味の教室」 受講者を募集

市勤労青少年ホームでは、「くらしと趣味の教室」の受講者を募集しております。

ふるってご応募下さい。

□受講資格 市内に住所または勤務先を有する15歳以上30歳までの勤労青少年。
(申し込みと同時に会員登録をして下さい)

□受講料 無料(ただし、教材費は自己負担)

□申込み締切り 8月15日～8月30日まで。

□申込み先 五所川原市栄町20 (☎④3602番)
五所川原市勤労青少年ホーム

お申し込みは、以前に受講された方でも結構です。

教室名	性別	と き	毎週	定員
料理教室	男・女	9月2日～11月11日	火	20人
陶芸教室	男・女	9月3日～11月5日	水	15人
煎茶教室	男・女	9月3日～11月5日	水	10人
生花教室	男・女	9月4日～11月6日	木	10人
着付教室	男・女	9月4日～11月6日	木	20人
写真教室	男・女	9月5日～11月14日	金	10人
茶道教室	男・女	9月5日～11月14日	金	10人



国と郷土を考える 国勢調査のはなし

国勢調査の「国勢」を、「国の勢い」とあるいは「国の勢力」というふうに解釈している人が、意外に多いといわれます。しかし、それは誤りです。

国勢調査という言葉は、もともと英語のセンサス(sensus)の訳語ですが、これもすんなり決まったわけではなく、さまざまな経過をたどりました。

現在人別調査 明治15年
 国勢大調査 明治22年
 民勢大調査 明治29年
 国勢調査 明治29年

このように、初めて「国勢調査」という言葉が登場したのは明治二十六年で、ある学会誌に発表された個人の論文に見られるものです。

一方、半ば公式に使われた最初は明治二十九年で、四人の衆議院議員が提出した「国勢調査は全国人民の現状即(すなわ)ち、男女、年齢、職業、身上の有様

その後も「民生調査」「人口調査」など、いろいろ用いられましたが、明治三十五年、国勢調査に関する法律が成立して、明治六年以来三十年間にわたる「曲折」に終止符を打ったのです。さて、国勢の意味ですが、さきにあげた国勢調査執行建議案には、次のように書かれています。

「国勢調査は全国人民の現状即(すなわ)ち、男女、年齢、職業、身上の有様中略につき精細に現実の状況を調査するものにして一たびこの調査を行うときは全国の情勢これを掌上(しようじよう)に見るを得べし」

この建議案から、国勢とは、国の勢いでも国の勢力でもなく、正しくは国の情勢であることがわかります。また、なかには国勢調査を「こくぜい調査」とよぶ人もいるようです。しかし、これも、情勢のせいですが「こくぜい調査」が正しく、多勢(たぜい)、おおぜい(のぜい)ではないということですね。

忘れずに提出を

八月は、福祉年金の受給者が、年金証書を市に提出する月です。

もし、提出が遅れますと、十二月支給分の年金が受けられなくなります。

八月分の福祉年金を受けとつたら、すぐに証書を市社会課・国民年金係が各支所、コミュニティセンター中川、松島同開設準備室へ提出して下さい。

福祉年金(国民年金) 証書

現在、国民年金の未加入者に加入を勧めています。お心当たりの方は、早く手続きをして下さい。

国民年金は、二十歳から厚生年金など、他の公的年金制度に入っていない日本国民が、すべて加入する年金制度です。国民年金に加入して、一年以上保険料を納めていれば、障害、母子、準母子、遺児などの年金が受けられます。二十五年以上(他の年金と通算でも)加入すれば、老齢年金が受けられます。

加入は、早ければ、早いほどよいわけです。二十歳になった方、他の公的年金(厚生年金など)をやめた方はもちろん、国民年金に入るはずの人で、まだ未加入の人は、印鑑持参のうえ、すぐに市社会課・国民年金係においで下さい。

国民年金の加入

早いほどよい

「移動健康教室」

お気軽にどうぞ

市と五所川原市民保健協議会では、次の日程で「移動健康教室」を開きます。皆さんの聴講をお待ちしています。

「糖尿病」について
□とき 八月二十七日(水)午後一時から
□ところ 市農協長橋支所

□テーマ 「糖尿病」について
□講師 三上光次氏
「肝臓の病気」
□とき 八月二十八日(木)午後一時から
□ところ 七和農協
□テーマ 「肝臓の病気」について
□講師 佐藤実氏

「肩こりと神経痛」
□とき 九月五日(金)午後一時から
□ところ 市役所飯詰支所
□テーマ 「肩こりと神経痛」について
□講師 桂修二氏
当日は、健康相談、血圧測定も行います。

保健衛生コーナー

「脾臓病について」

医師会と家庭を結ぶ、「みんなの健康教室」が次の日程で開かれます。
お気軽においで下さい。
今回のテーマは、「脾臓病について」です。
□とき 八月二十二日(金)午後一時から
□ところ 産経会館四階ホール
□主催 北五医師会、五所川原市民保健協議会
年間をとおして聴講された方には、修了証と記念品を差し上げます。

みんなの健康教室



乳幼児の健康診査

乳幼児の健康診査と健康相談を次の日程で行います。該当する赤ちゃんには、受診させるようにして下さい。
■受付時間 午後零時30分から1時まで
■持参するもの 母子健康手帳、バスタオル
現在、病気治療中か他の医療機関で健康診査を受けている乳幼児はご遠慮下さい。
1歳6カ月児に限り歯科衛生指導も行います。

月 齢	対 象	と き	と ころ
3 カ月児	昭和55年5月生まれ乳児	9月10日	市中央公民館
6 カ月児	昭和55年2月生まれ乳児	9月16日	〃
1歳6カ月児	昭和54年3月生まれ幼児	9月30日	〃

境さんらに知事感謝状

第七回青森県献血推進大会が、七月二十九日当市本町「アラスカ」に関係者二百五十人が出席して開かれ、席上五十四年度に献血に協力しその実績が著しかった団体、個人に県知事から感謝状が贈られました。
当市で感謝状を受けた団体、個人は次のとおりです。
□団体 株式会社木村石油、有限会社野輪商会、国鉄五所川原駅
□個人 境敏文(四十回以上献血)、工藤健一、清水高克(二十回以上献血)
(敬称略)

54年度献血に協力

地区別日程

期日	時 間	場 所	対 象 地 区
8	21 1:00~2:00	毘沙門小学校	毘沙門
	21 2:00~3:00	長富公民館	長富
	22 1:00~3:00	中川コミュニティーセンター	榎田、田川、中泊、川山
		種井、沖飯詰	
	25 1:00~3:00	福祉会館	下平井町、尻無、桃崎
	26 1:00~3:00	湊集会所	湊、姥苺、千鳥町、
		猫淵、三ツ谷	
	26 1:00~2:00	一野坪集会所	一野坪、太刀打
	27 1:00~2:00	梅沢公民館	梅田
	28 1:00~3:00	中泉公民館	中泉
28 1:00~2:00	七ツ館公民館	浅井、七ツ館、稲実、	
		広田	
29 2:00~3:00	金山昭和館	田中、宮田、悪戸、川代	
		田、野崎、金山	
9	29 1:00~2:00	水野尾公民館	水野尾
	2:00~3:00	松野木松家寺	松野木、福岡、若山
	3 2:00~2:30	戸沢公民館	戸沢、平町
	3 3:00~3:30	石田坂集会所	石田坂
	4 1:00~2:00	前田野目公民館	前田野目
	4 1:00~3:00	藻川公民館	藻川
	5 1:00~3:00	森の家	若葉1丁目、2丁目、3丁目

保健衛生コーナー

上記の場所で行いますが、それぞれ都合のよい場所で診査を受けて下さい。

□診査を受ける際 福祉事務所発行の「受診券」を受け付けにお出し下さい。



「無料健康診査」を実施
65歳以上のお年寄りが対象

今年も65歳以上のお年寄りを対象に「無料健康診査」を行います。

該当する方は、健康な方でも、病院通いをしている方でも診査を受けるようにして下さい。

□実施期間 8月20日(水)~9月16日(火)まで

□実施場所 下記のとおりです。

田 町	対馬内科医院	錦 町	中村内科医院
元 町	カク小児科内科	旭 町	兼平内科医院
新 町	増田病院	数島町	川崎胃腸科
弥生町	荘司内科医院	中平井町	佐々木医院
弥生町	佐藤内科医院	中平井町	白生会胃腸病院
本 町	森田医院	鶴ヶ岡	三好診療所
旭 町	復明堂医院	神 山	長橋診療所
旭 町	江渡医院	羽野木沢	阿部医院
松島町	木村内科医院	高 野	山口医院
柏原町	森内科医院	飯 詰	松野医院
布屋町	小笠原内科医院	みどり町	富田胃腸科内科医院

上記の場所で実施しますが、それぞれ都合のよい場所で診査を受けて下さい。

□診査を受ける際 福祉事務所発行の「受診券」を窓口へお出し下さい。

(受診券は、各老人クラブか市福祉事務所で受け取って下さい。)

無料「巡回健康診査」も

今年も65歳以上のお年寄りを対象に、無料「巡回健康診査」を行います。

該当するお年寄りは、健康な方も、病院通いをしている方も全員健康診査を受けるようにして下さい。

地区別日程は次のとおりです。

3歳児の健康診断

- 対象幼児 昭和51年10月1日から昭和52年4月1日までに生まれた幼児
- 母子健康手帳 必ず持参して下さい
- 受付時間 午後1時から2時まで
- 健診場所 市中央公民館
地区別の日程は次のとおりです。

月 日	地 区 名
9月2日(内)	五小学区、小曲地区、若葉地区、飯詰地区
9月3日(水)	三好、毘沙門、中川、松島地区
10月16日(木)	七和、長橋、栄、梅沢地区
10月17日(金)	南小学区、みどり町、松島団地

街頭献血のご案内

移動採血車「青い鳥号」が次の日程で街頭献血を行います。

ご協力下さい。

□とき・ところ

◎八月二十一日(木)

○午前10時30分から正午まで、市庁舎前

○午後1時30分から3時まで、国鉄五所川原

駅前

◎八月二十八日(木)

○午前10時30分から正午まで、鎌谷町・鎌谷

○午後1時30分から3時まで、栄町・尾崎自

集会所前

◎九月四日(木)

○午前10時30分から正午まで、市庁舎前

○午後1時30分から3時まで、本町・葛西

商店前

新 受 入 図 書

市立図書館

書名	著者名	書名	著者名
舞踊年鑑1980	全日本舞踊連合	ふるさとの旅路	趣味と生活社
長安から河西回廊へ	陳舜臣	世界への旅	趣味と生活社
現代天文百科	サイモン・ミットン	世界紀行文学全集	西園寺公望
日本書籍総目録	日本書籍出版協会	日本昔話事典	稲田 浩二
唯物論者の宗教	安部 繁	啄木私稿	冷水 茂太
言葉の雑学事典	塩田 丸男	夏目漱石辞典	實方 清
青森県の博物集成	青森大学出版局	島崎藤村文芸辞典	實方 清
みちのく植物図鑑	石川 茂雄	太宰治辞典	實方 清
森田村史 上巻	豊島 勝蔵	むづかしい世の中	佐藤 愛子
茶道美術鑑賞辞典	池田 巖	幸福の絵	佐藤 愛子
図録茶道史	林屋辰三郎	帰 路	立原 正秋
電気の理論	若山芳三郎	蝶花嬉遊図	田辺 聖子
コンピューターの基礎	若山芳三郎	荒 野	高橋たか子
エレクトロニクスの基礎	鈴木 清	象使いの弟子	畑 正憲
運動の生理学	P.V・カルポビッチ	エコーの森をぬけて	五木 寛之
スポーツ入門双書	ベースボールマガジン	流されゆく日々	五木 寛之
陸上競技入門シリーズ	ベースボールマガジン	ケルンからの手紙	三輪 晴啓
趣味の家庭園芸	趣味と生活社		

昭和55年度花と緑のコンクール

標語・作文・論文の募集

このたび、花と緑いっぱい運動に対する理解と参加を高める機会として標語等を募集し、これを顕彰することになりましたのでふるってご応募下さい。

実施方法

〔標語〕 運動に理解と関心を高めることをねらいとしたもの。

〈対象〉小・中学生、高校・一般

〔作文・論文〕 題は自由とする。運動に対する感想・意見・構想・生活記録的な内容とする。

〈対象〉小・中学生、高校・一般

審査と表彰

- (1) 審査は内容、対象別におこない、審査委員は主催者、後援団体から選ぶ。
- (2) 入賞者には賞状と記念品を贈る。
- (3) 表彰式は10月におこなう。

応募方法

- (1) 標語、作文、論文は学校(勤務先、住所)、学年、氏名を明記すること。
- (2) 作文は400字詰原稿用紙5枚以内、論文は同10枚以内、標語はハガキか原稿用紙に書くこと。
- (3) 著作権は青森県新生活協議会に属し、応募作品は返さない。
- (4) 送り先は、青森市新町2の3の1 県社会教育課内 青森県新生活協議会 (2)1111(内線)5192番です。
- (5) 締切は9月5日とする。

○主催 青森県新生活協議会

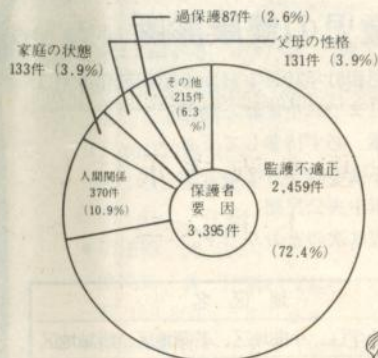
広報紙の早期配布にご協力下さい

少年の非行防止は 愛の一声と 家庭のしつけから

家庭のしつけ

少年の健全育成の基盤は「家庭」です。家族みんなで、明るく、楽しい家庭づくりにつとめましょう。

- 子供が健やかに育つ家庭には「がんこ、おやじに優しいお母さん」という組み合わせが多く見られます。
- 子供へのほめ言葉は、父親の口から出る方がより効果的です。
- 「ぼくちゃん」「〇〇ちゃん」などとわが子を愛称で呼ぶのは、せいぜい小学校低学年まで。
- よくできた兄弟をひきあいにして、叱らないように。
- 家庭のしつけが、両親や祖父母などバラバラになっていませんか。
- 「お前のために苦労する」などと、子供の前でぐちをこぼしたり恩にきせないようにしましょう。



青森県警察本部防犯部